

2014年(平成26年)11月14日(金曜日)

ローマ景観に統一感

東京の建築士
新潟で講演 まちづくりを考える

風土に根ざしたまちづくりを
考える講演会が13日、

新潟工大(柏崎市)の

新潟市中央区のクロス・パル

にいがたで開かれた。イタ

リア留学経験のある建築

士、鳴沢晴美さん(55)が東

京IIが、西洋の町並みを紹

介しながら「人と同じよう

に地域にも個性がある。新

潟も新潟らしさを生かした

まちづくりをしてほしい」

と話した。

新潟工大(柏崎市)の

教員や県内の建築関係者で

つくる「にいがた住まい・

まちづくり環境研究会」が

主催した。会員と交流のあ

る鳴沢さんらが講師を務

め、建築士や学生ら約80人

が訪れた。

鳴沢さんは「ファッショ

ンでその人らしさを表せる

ように、地域

も建物の色彩

や照明などで

独自性が表現

できる」と説

明。歴史を重

視するローマ市は、広告物

や建物の外壁の色などを制

限する条例によって統一感

している

ことを紹介した。

新潟工大4年林沙弥佳

さん(21)は「日本の古い町

並みが好きなので、イタリ

アの景観の法規制を知ること

ができてよかった」と話

していた。

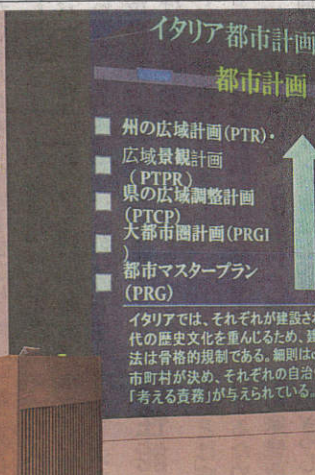
のある景観を維持している

ことを紹介した。

新潟工大4年林沙弥佳

さん(21)は「日本の古い町

並みが好きなので、イタリ



イタリアの都市を例に、景観について話す鳴沢晴美さん13日、新潟市中央区



耐震へ点検補修を

建設業者らがコンクリート構造物の耐震技術などを学ぶ技術セミナーが、市民プラザで開かれたII写真II。建築や土木などが専門の大学教授ら講師3人が講演した。

県建設技術センター、県建設業協会が主催し、約70人が参加した。新潟工大(柏崎市)の地濃茂雄教授は「自然災害とコンクリート」と題して講演し、地震の揺れや津波が建物に及ぼす影響などを解説した。「定期的な点検を通して、コンクリート構造物のひび割れなどを早期に発見、診断して、補修や補強をしていくことが重要」と述べた。柏崎市の建設会社社員、大島清隆さん(52)は「災害に備えるため、建物の補修や補強の大切さを再認識した」と話した。セミナーは新潟市でも開かれた。